飯田市の外国人住民数(R2.3.31) 2.294人(人口比2.3%)

全31か国 1位:中国(978人)2位:フィリピン(473人)3位:ブラジル(318人)4位:ベトナム(254人)

男性:914人 女性:1,380人 永住者:1,143人 日本人・永住者配偶者等:231人 特別永住者:55人 技能実習生:443人 特定技能7人

※主に定住化傾向にある中国、フィリピン、ブラジル出身の定住者と、ベトナム出身の技能実習生等一定期間居住する住民に分かれる。また、多国籍化が定着(31か国)

定住生活の支援における施策

【主な事業・成果】

≪日本語教室や子どもの教育支援≫

- 1. 日本語学習支援として、要望のある学校に対し日本語指導者を派遣したり、外国人児童生徒への母語による授業通訳、保護者宛通知の翻訳を実施した。 また、夏休み等の長期休暇中には、ボランティアが外国人児童生徒の学習支援を夏冬ので実施し、延べ105名が参加した。
- 2. 高校進学のための進学ガイダンス(61名の参加)では、地域の高校も参加し、進学に悩みを抱える親子が直接相談する機会を創出した。
- 3. 外国人住民を対象とした日本語教室については、飯田市公民館で45回実施し、延べ360人が参加した。また、自治体国際化協会の補助を受け、飯田市公民館主催の日本語教室は8回×1講座、10回×1講座開催され、延べ242名が参加した。
- 4. 市内の小中学校の日本語教室、地域住民のボランティアによる日本語教室を訪問し、その実態から日本語教育・学習支援事業の課題を把握することができた。

《生活支援·就労支援·地域活動参画支援》

- 1. 言語バリアフリーの取組みとして、飯田国際交流推進協会との協働で「やさしい日本語」研修会を実施した。多文化共生推進に関わる市民や職員が、「やさしい日本語」を活用した言語バリアフリー 推進の意義や、「やさしい日本語」を活用することによって、市民への情報伝達が円滑に実施できることを理解することができた。
- 2. ごみの出し方ガイドブック、市県民税納税通知、国保への加入届出等、生活に必要な手続きについて多言語で情報発信し、生活支援を実施した。
- 3. 多言語相談窓口を設置し、相談員が関係課と連携して、504件の外国人住民の行政手続き支援や生活に必要な相談に応じた。また、次年度から本格的に多言語対応をしていく環境整備を実施した。 (多言語音声翻訳機器の導入等)
- 4. 外国人労働者派遣事業者訪問や企業経営実態調査等で外国人住民の就労の実態把握をしつつ、ハローワーク等の関係機関と連携して就労支援を行った。
- 5. 常盤台区や龍江地区、山本地区等、外国人住民の集住地区が、住民同士の相互理解促進や多文化共生推進を目的とした交流サロンを実施し、外国人住民の地域活動参画機会を創出した。

【課題】

- 1. 外国人高校生に対する日本語教育支援を、県教育委員会と連携して実施する等、義務教育課程から高校教育課程への切れ目のない接続支援が必要である。
- 2. 外国人住民の多国籍化が定着する中、通訳による人的対応に加え、「やさしい日本語」、通信機器の活用による多言語対応が必要である。

安全安心で豊かな交流のまちづくりにおける施策

【主な事業・成果】

≪災害・防災・医療・介護に関する支援≫

- 1. 医療通訳派遣試行制度によって、28件の医療通訳、介護通訳派遣制度によって、40件の介護通訳に対応した。 また、市立病院では中国語通訳を常駐させ、延べ1,779件の通訳に対応した。
- 2. 広域消防本部では、外国人住民対象の防災・救急講習を計15回、延べ641人に実施し、外国人住民の防災意識の向上、災害時対応のノウハウの習得に努めた。

≪観光・文化交流に関する支援≫

- 1.多言語パンフレット、無線LAN環境整備、英語対応可能な観光案内所職員配置、外国人が利用可能な農家民泊プログラムの提供、自動音声アプリの普及等で外国人受入れの環境を整備した。
- 2. 友好都市「シャルルヴィル・メジェール市訪問市民ツアー」「飯田国際交流のタベ」等、地域住民が主体的に取り組む国際交流、国際理解推進事業が行われ、その取組みを支援した。

【課題】

- 1. 災害・防災時の多言語支援センター設置手順の整備と継続的な防災意識向上の普及啓発により、外国人住民の災害対応を強化していく必要がある。
- 2. 関係機関、関係団体等と連携して、進展していく定住外国人住民の高齢化対応について検討していく必要がある。(医療、介護等)

定住者の中には、日常生活において様々な悩みを抱え、不安を抱きながら生活している者も少なくない。産業界は全般的に人手不足であり、今後も技能実習生の増加が見込まれる。 言葉や文化の差異から、外国人住民と日本人住民の円滑なコミュニケーションが進まず、生活習慣や考え方の違いに対する理解不足もあって、地域内のトラブルに発展するケースもある。

外国人住民と日本人住民が共に集い、共に活動し、相互理解、相互交流を地域に展開し、外国人住民の悩みにきめ細かく対応できる体制構築が必要である。



外国人住民を対象 にした防災講習 わいわいサロン 学習成果発表会





	の基本な柱	施策の 区 分	取組みの 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年度の評価
						福祉課	中国帰国者高齢者向け日本語教室を月1~2回×2会場で計23回開催した。 中国帰国者一般向け日本語教室を5月から月2回×1会場で22回開催した。	3
				1	定住のための日本語教室の実施又は運営支援	公民館	日本語教室「わいわいサロン」は45回実施(延べ360人)。来日、来飯間もない外国人のワンストップおよび日本語教室として機能した。 クレア事業として、日本語教室「わいわいサロンII」鼎教室8回(延べ172人)、松尾教室10回(延べ70人)を運営し、学習成果発表会では50名が参加した。 新たに立ち上がった日本語教室に対し、教材の貸し出し、教室運営のアドバイス、人材育成などの支援を行った。また事業の中で関係者と情報交換する機会を作ることができた。	4
						男女共同参画課	各地区の日本語教室の現状やニーズ把握のために、飯田市公民館と連携して教室見 学を行い、教室運営の課題を抽出した。	4
			日本語教室の	2	NPOやボランティアが運営 する日本語教室の支援	公民館	学習成果発表会では、地区公民館や市内各地域の日本語教室をはじめ国際交流団体、NPO、外国人住民団体の活動紹介を行った。 年3回実施している運営委員会に他の日本語教室の代表者を招き、情報交換を行った。	4
	コミュニケーション支援		開設・		する日本語教室の文援	男女共同参画課	各地区の日本語教室の現状やニーズ把握のために、教室見学を行い、教室運営の課題を抽出した。	4
		日本語教育、日本語指導等	運営の		外国人従業員等への日本	産業振興課	問合せの際は、ハローワークを案内する体制を整えている。	4
			支 援	3	語教室の開催に向けての 取組み	工業課	企業経営実態調査を11月度に実施。各社、日本語を習得した実習生等を採用しているため、日本語教室についての要望はヒアリングの際には受けなかった。	4
定				3	外国人従業員等への日本 語教室の開催に向けての 取組み(続き)	男女共同参画課	厚生労働省が実施する「外国人就労・定着支援研修」を支援した。また、外国人労働者を派遣する団体や企業への個別ヒアリングから、就労のための日本語教室の必要性について情報収集した。	3
住生活の支援				4	日本語指導者の情報提供 又は派遣	公民館	外国語相談窓口、各公民館にわいわいサロンのチラシを設置し、コーディネーターを紹介した。 地域日本語ボランティアに市内の日本語教室を紹介した。 わいわいサロンをワンストップセンターとして、コーディネーターの紹介や日本語教室の紹介をしている。	4
						男女共同参画課	相談者に対して、地域日本語教室や就労・定着支援研修等への案内を行うとともに、 各種機会を通じて情報提供した。	4
			日本語指	5	日本語指導者養成講座の 実施	公民館	サポーター講習3回(延べ47名)、コーディネーター講習(延べ13名)を実施した。 「やさしい日本語」講演会・ワークショップには15名が参加した。	4
			養成者の	6	国、県等が行う日本語指 導者養成講座への指導者 派遣	男女共同参画課	飯田市公民館が実施した指導者養成の研修会実施に協力した。	4
			目			公民館	新たに立ち上がった日本語教室に教材の貸し出しや紹介を行った。	4
			本語学	7	日本語指導教材の管理、 貸出、活用の促進	図書館	利用者の要望を元に、中国語、英語等の図書や日本語学習教材、英語多読学習資料等を収集した。また、学校図書館への団体貸し出しを行った。	4
			習教			男女共同参画課	日本語学習教材コーナーの管理を行った。	3
			材の充	8	新たな日本語指導教材の	公民館	蔵書の整理を行った。教材の紛失がないよう、すべての蔵書に「飯田市公民館」と明示した。	4
			実		選定、導入	男女共同参画課	日本語学習教材コーナーの管理を行った。	3
	子どもの教		語・母語教室 部・母語教室 語・母語教室	9	日本語指導が必要な児童 生徒の多い学校へ日本語 教室を設置・運営	学校教育課	小学校6校(丸山小、松尾小、竜丘小、山本小、伊賀良小、上郷小)、中学校1校(旭ヶ丘中)に設置した。(県費職員)	4
	教育支援		明教室 めの日本 外国人児	10	日本語指導者の研修会の 実施	学校教育課	教育委員会主催の日本語教室担当者会を6月に開催し、日本語指導者を講師とした 研修の実施によるスキルアップと、日本語未習得の子供の受入れ体制強化を図った。	4

	の基本な柱	施策の 区 分	取組み の 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年 度の評価															
		子どもの教育に対	めの日本知小・中学校			公民館	外国人児童生徒の学習支援「えんぴつクラブ」夏休み5回(延べ75名)・理数系講座5回 (延べ25人)冬休み1回(5人)を行った。	4															
			や語・母語教室校の外国人児童	11	課外での日本語教室や母 語教室の実施	学校教育課	就学促進事業において、公民館を利用した日本語及び教科学習教室の開催、要望の あった小中学校内での日本語指導を行った。	4															
			室(続き)			男女共同参画課	就学促進事業の状況把握に努め、機会をとらえて学校教育課や講師と意見交換を 行った。	3															
		する支援		12	外国人児童生徒母語支援 員の配置	学校教育課	外国籍児童生徒共生支援員の配置、学校への派遣を行った。(ポルトガル語1名、中国語2名、タガログ・英語1名)。	4															
		(続き)		10	中学生から高校生までを	学校教育課	外国籍児童生徒共生支援員の配置、学校への派遣を行った。(ポルトガル語1名、中国語2名、タガログ・英語1名)。	4															
			小 • 中	13	対象とした日本語支援員等の派遣	男女共同参画課	高校からの依頼により、母語支援員を紹介した。 (公財)長野県国際化協会が派遣している支援体制整備のため、コーディネーターとの情報共有を行った。	4															
			高校			学校教育課	進学ガイダンスへの協力を行った。	4															
	子どもの教育支援(続き)		の外国人児童生徒	14	外国人児童生徒及び保護 者に対する進路指導、進 路相談・ガイダンスの実施	男女共同参画課	(公財)長野県国際化協会や飯田国際交流推進協会、飯田市教育委員会と連携して7/21に進学ガイダンスを実施し、支援者も含め61名の参加を得た。飯田下伊那地域の高校の先生方と直接相談ができる場を提供し、高校への進学に悩みを抱える家庭が相談することができた。	4															
		子どもの教育に対する	及びそ	15	外国人児童生徒の保護者 に対する相談会の実施	学校教育課	学校の要望により、懇談会や参観日、家庭訪問等への母語支援員派遣を行った。	4															
定住生活			の保護	10		男女共同参画課	進学ガイダンス(7/21)に合わせて相談会を開催した。また学校教育課と連携して個別の相談に対応した。	4															
生活の支援			者に対する		16	外国人児童生徒の不登 校、不就学児の実態調査 とその対応	学校教育課	学校その他機関への調査による外国籍児童生徒を含む全児童生徒の就学実態を把握した。 居住実態があり、学齢の児童生徒については、保護者に対し就学を促した。	4														
(続			支援		とその対応	男女共同参画課	学校教育課と連携し、学校や保護者からの相談に対して個別に対応した。	4															
き)			の充実				子育て支援課	就学相談を行う外国籍幼児4名の保護者に対して、通訳同席のもと説明・相談を行った。	4														
					就学前の日本語指導が必要な子ども及びその保護者に対する就学相談	学校教育課	各学校で開催される就学相談会、一日入学、就学前健診等へ母語支援員を派遣した。 年長児に対する語彙調査は今年度実施しなかった。	3															
						男女共同参画課	保育園への入園時や関係施設等の対応に応じて協力を行った。 年長児に対する語彙調査は、今年度は実施しなかった。	3															
		支援(続き)		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18				子育で支援課	外国籍保護者向け「保育園入園のしおり」を用いて、入所等の案内を行った。今年度 通訳の依頼はなかった。 日本語の理解が不十分な外国籍児童生徒や保護者のいる学校に共生支援員を派遣 支援した。	4
			支援体制 (外国人児童生徒への支援 体制の運営・指導者育成	公民館	市内小中学校の日本語教室の見学を通じて、外国人児童生徒をとりまく学習環境の改善につながる講座を検討した。 外国人児童生徒の学習支援「えんぴつクラブ」「理数科講座」「日曜親子教室」に、ボランティアの積極参加を促した。	3		
			の運営や指:			学校教育課	日本語教室に対する消耗品補助、日本語指導に必要な書籍等の配備を行った。 学校における日本語教室の他、日本語教室未設置の学校に対して「定住外国人の子供の就学促進事業」での日本語指導員を派遣し、指導を実施した。	4															
			導者の育成	10	外国人児童生徒への支援	保健課	母子手帳の外国語版(英語、中国語、タイ語、ポルトガル語、ハングル語、タガログ語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語)を必要に応じて配布した。 乳幼児健診等で通訳が必要な場合には依頼している。 乳幼児健診問診票の外国語版(ポルトガル語、中国語、英語)を提供した。	4															
				10	体制の運営・指導者育成 (続き)	福祉課	福祉サービス等の利用において、相談・通訳等の支援を行った。	4															
						男女共同参画課	各学校では一昨年度作成した「飯田市小中学校外国人児童生徒受入れ及び支援の 手引き」を活用してもらった。	3															

	の基本な柱	施策の 区分	取組みの 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年 度の評価
		各種	多言	19	市政情報番組を多言語で 発信(FM放送及びHP)	秘書広報課	毎週土・日の各1回30分ずつ、いいだFMの「広報いいだの風」で、市からの情報を中国語、ポルトガル語、英語にて提供した。	4
		案内	語に		光百(FM)从达及UIII)	男女共同参画課		
		言語化質	よ る 市	20	飯田市ホームページの翻	秘書広報課	英語、中国語、韓国語を含めた100以上の言語の翻訳サービスを常時提供している。	4
		等資	政情		訳機能の充実	男女共同参画課	毎週土・日の各1回30分ずつ、いいだFMの「広報いいだの風」で、市からの情報を中国語、ポルトガル語、英語にて提供した。	4
		料等の多	報の提供	21	ニーズに応じ外国人住民 等向けの出前説明会の実 施(男女共同参画課が コーディネート)	該当する全ての課等	山本地区で行われた飯田市公民館主事研修会Bブロックの多文化共生推進に関する研修会で、飯田市の多文化共生の取組みについて情報提供しながら、外国にルーツを持つ住民の方々との意見交換を行った。	3
		各		22	多言語対応生活ガイドブッ クの作成・配布	市民課	外国人転入者にガイドブックの配布を行っていた時期もあったが、ガイドブックの残部 が少なくなったことと内容が古くなったことにより、ガイドブックの配布は中断している。	2
		種案内	各			男女共同参画課	関係課を通じてガイドブックの配布を行った。	3
		7、通知、資料等の多言語化等	種文書等の多言語化等	23	各種文書の多言語化等	該当する全ての課等	「ごみの出し方ガイド」を日本語・英語・ボルトガル語・中国語・ベトナム語の5カ国語で作成した。(環境課) 外国人住民のうち組合未加入者世帯に対して「令和2年度版ごみ・リサイクルカレンダー」を郵送する際、日本語・ボルトガル語・中国語の3カ国語の案内チラシ(「ごみ・リサイクルカレンダー送付のご案内」及び「自治活動組織加入促進リーフレット」)を同封した。(環境課) 「ごみ集積所ごみ表示看板」、「ごみ集積所ごみ分別ルール等説明看板」を設置した。(環境課) 「ごみ集積所ごみ表示看板」、「ごみ集積所ごみ分別ルール等説明看板」を設置した。(環境課) 大の登録に関するHP上の掲載について、飯田市HPの自動翻訳機能を活用して対応した。(環境課) 市県民税納税通知書へ英語・中国語・ポルトガル語及びやさしい日本語による説明文書を同封した。(税務課) 国保への加入届出の際に必要に応じて、英語・中国語・ポルトガル語・タガログ語のチラシを配布した。また、一部内容の見直しをはかり、最新版のチラシを作製した。(保健課)	4 4 3
定住		談体制の充実 多言語対応相	多言語 対	24	多言語相談窓口に多言語 対応相談員を配置	男女共同参画課	中国語(月・火・木・金)、ポルトガル語(火・木)、英語・タガログ語(水・金)相談員を配置し、各種相談等に応じた。(時間:午後1時から5時まで 件数:504件)	4
生活の	生活		対応相	25	多言語対応相談員に対す る研修等の実施	男女共同参画課	中国語相談員が、医療通訳のスキル向上のために、講座等に参加した。	4
支援(支援		就労		就労のための日本語教 6 室、就労・定着支援研修 の実施	公民館	コーディネーターを中心に、就業相談や、就職先の紹介を行った。また就業者支援日本語教育(JICE)の申請手続きの支援を行った。	3
(続 き			のため	26		産業振興課	関係機関が行うチラシの設置及び配布に協力した。	4
)			の 日 る本 相語			男女共同参画課	「外国人就労・定着支援研修」への参加者募集、会場の手配について協力を行った。 相談者に対して、ハローワークや関係機関を紹介した。	4
			教室、就労	27	関係機関や企業等との連 7 携による外国人住民等の	工業課	今年度中に具体的案件は無かったが、対応体制は構築済み。	3
						産業振興課	ハローワークなどの関係機関を案内する体制を整えている。	4
			に関す			就労相談への対応	男女共同参画課	外国語相談窓口での相談時に就労に関する相談を受けた場合は、ハローワーク等、 関係機関を紹介した。
		就労			雇用等に関する実態調査 8 等を通じた各企業、事業 所等への啓発	工業課	企業経営実態調査実施時には、外国人労働者の人数、男女比、国籍および今後の採用の意思等について調査した。また、外国人採用・育成にあたって苦慮している点等も各企業に確認し、施策へ反映していく予定。	4
		労支援		28		産業振興課	ハローワークなどの関係機関を案内する体制を整えている。	4
			企業、事業			男女共同参画課	雇用実態調査や製造業関係者の会議での実態把握を行った。 厚労省が実施する「外国人就労・定着支援研修」の職場体験をコーディネートし、当日も参加して状況把握に努めた。 監理団体、登録支援機関を訪問し、外国人住民の就労実態の把握に努めた。	4
			新所等			工業課	今年度中に具体的案件は無かったが、対応体制は構築済み。	3
			との	29	9 外国人住民等の職場見	産業振興課	ハローワークなどの関係機関を案内する体制を整えている。	4
			連携		学・体験等の機会提供	男女共同参画課	厚労省が実施する「外国人就労・定着支援研修」の職場体験をコーディネートし、受講者にホテル業界での業務についての研修実施に協力した。	4
				30	経済連携協定による外国 人看護師・介護福祉士候 補者制度など外国人労働 者の受入れ制度の情報提 供【新】	男女共同参画課	情報提供を視野に、経済連携協定により、技能実習生を受け入れている団体にヒアリングを行い、実態についての情報収集を行った。	3

	の基本な柱	施策の 区分	取組みの 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年 度の評価										
	地域		外国人住口	31	外国人住民等への自治組	ムトスまちづくり推進課 (自治振興センター)	各まちづくり委員会が独自に取組み月間を定めて加入の働きかけを行った結果、日本人世帯を含め合計542件の家庭を訪問し、207件から自治組合への加入があり、そのうち外国人世帯と思われるものは、12件を家庭訪問し、うち5件が自治組合へ加入した。	3										
	社会参		入保海の	51	合加入の働きかけ	産業振興課	関係機関と連携して、加入促進に努める体制を整えている。	4										
	画支		進の自治			工業課	企業からの相談に応じ、対応した。	3										
	援	自治組合	組合加	32	外国人住民等のまちづくり 委員会等への参画の促進		自治振興センターに寄せられた、まちづくり委員会に対する住民からの意見等は、まちづくり委員会の役員会等に報告されている。	3										
		1加入、地域活	外国人住民	33	多言語、ふりがな付き又は やさしい日本語による地域	ムトスまちづくり推進課 (自治振興センター)	令和2年度版 ごみ・リサイクルカレンダーの送付にあわせ、自治組合加入案内リーフレットを同封し、多言語(ふりがな付日本語、ポルトガル語、中国語、英語)による送付案内状兼加入案内状も同封、12,500通を郵送した。 地域自治組織加入促進リーフレットのポルトガル語版、中国語版、英語版データをホームページへ掲載し供用した。	4										
定住		動への参	.民等の地域		活動の案内	公民館	日本語教室「わいわいサロンII」鼎教室・松尾教室・学習成果発表会の案内チラシを中国語・ポル語・英語・ベトナム語に翻訳し、各公民館などに設置したほか、SNSや飯田市ホームページに掲載した。	4										
生活の支援		加	城活動への		地域活動での外国人住民	ムトスまちづくり推進課 (自治振興センター)	まちづくり委員会が行う地域活動への参加を、各自治会等が案内し、参加を呼び掛けた。	3										
援(続き)	地域社会		参画促進	34	等の参加の機会や活躍の 場づくり	公民館	集住地区である羽場・丸山地区、山本地区、松尾地区における、多文化交流事業の参加や支援を行った。1回きりの交流会ではなく、継続的な活動を通じて、地域住民の外国に対する理解、外国住民の地域参加を促してきた。	4										
	参画支援	コミュニティーの支援	シュニティ 外国人住民	35	外国人住民等への学習機 会の提供とコミュニティー 活動の支援	公民館	県国際化協会の外国人活動団体実態調査への協力を行った。 国際交流のタベをはじめとする、交流事業のための貸館の協力を行った。 日本語教室「わいわいサロンII」学習成果発表会で各団体の活動紹介のパネル展示や 話をしてもらった。	4										
			イーの支援民等のコ			男女共同参画課	常盤台区での多文化共生、多文化交流のコミュニティを目指したサロン実施への協力 を行った。 ブラジル移動領事館は実施されなかった。	3										
		自主活	外国人住民	36	公民館、体育施設等の利 6 用規程や案内の多言語化 など	生涯学習・スポーツ課	頻度は少ないが、体育施設の利用に伴う手続きではトラブルもなく通常の受付が行えており、不明な場合は随時窓口で対応を行った。 大会やイベント等の施設利用では申請受付時に、必要に応じて大会等の主催者に対し、多言語表記を周知・依頼した。	4										
		動の支	支等 援の			公民館	日本語教室「わいわいサロン」の案内看板は多言語化している。	3										
		援	自主活			男女共同参画課	観光課が所管する天龍峡の案内施設看板の英語表記に協力した。	4										
			外国人		37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	多言語による防災啓発資 料の配布	危機管理室	各地区で実施した防災講演会、各種防災訓練及び地震体験車運行の際に、防災に関する各種ペンフレット等を配布し啓発に努めた。 また、新型コロナウイルス感染症対策では、感染拡大予防広報等において、やさしい 日本語や外国語対応を行った。	3
	安		住民等		[취임 V 전타기]]	男女共同参画課	「大きな災害が起きた時への備えについて」の多言語のチラシを相談室に配架した。	3										
安全安心	全安心な	災	に対する			危機管理室	6月2日に土砂災害・全国統一防災訓練を、9月1日地震総合防災訓練を実施し、意識 啓発に努めた。	3										
心で豊かな交流の	言語バリアフリ	害・防災に関す	の防災意識の啓発		関係機関・団体等との連 携による外国人住民等を 対象とした防災講演会、防 災訓練等の実施	広域消防本部	外国人住民対象の防災・救急講習を、計15回延べ641人に実施した。 (1回平均2時間程度・ベトナム、ミャンマー、タイ、ネパール他) 内訳 飯田消防署 講義内容 「防災について」 9回 計535名 伊賀良消防署 講義内容 「防災及び救急」 5回 計100名 高森消防署 阿南消防署 講義内容 「防災及び救急」 1回 計6名	3										
のまち	0	る 支	元			男女共同参画課	市や地域が行う外国人住民向けの防災訓練に対して、必要に応じて協力を行った。	3										
いづくり	まちづくり	援	防災訓練へ		설레르마 ((()레이ઇ 소시 등	ムトスまちづくり推進課 (自治振興センター)	各地区自主防災会が行う防災訓練への参加を、自治会等が促進強化月間を活用して呼び掛けた。 また、広報5月15日号のお知らせと、広報8月1日号の特集記事で地域防災の様子を伝えながら、防災訓練への参加を呼び掛けた。	3										
			参加促進、の外国人住民	39	39 各地区防災訓練への外国 人住民等の参加の促進	危機管理室	市内20地区全てで策定された地区防災計画や避難所設置・運営マニュアル等に基づ 〈各種訓練の実施、その結果を踏まえた同計画の修正等を通じて、災害時の要配慮者 について認識を深めた。 また、地区防災計画に広く地域住民の訓練への参加に関する規定を設け、訓練への 積極的な参加を促した。	3										

	の基本な柱	施策の 区分	取組み の 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年 度の評価				
			住民等の (統		各地区防災訓練への外国	広域消防本部	各署予防及び救急係が中心となり各種講習会の開催を行った。	3				
	安		(の外国人の外国人	39	人住民等の参加の促進	男女共同参画課	各地区で開催される防災訓練への外国人住民の参加を促す取組みが不十分であった。	2				
	安全安、		多言			秘書広報課	防災訓練の際に、わかりやすい日本語による情報提供を検討した。	4				
	心な言語		語等によ	40	多言語又はやさしい日本 語によるラジオ広報	危機管理室	防災行政無線のデジタル化工事の中で、いいだFMや飯田ケーブルテレビ等の関係事業者等と、今後の防災情報の提供方法等について協議し、よりわかりやすい情報提供のあり方について研究・検討した。	3				
	バリア	災	る 注			男女共同参画課	いいだFM等とやさしい日本語での情報提供についての検討に着手した。	3				
	フリーの	害・防災に	の発信警報			危機管理室	防災行政無線のデジタル化工事の中で、庁内関係各課との協議・研究だけでなく、 メール配信システム開発事業者や防災行政無線関係事業者等と情報交換を行い、わかりやすい日本語や多言語での情報提供ツール等について研究を進めた。	3				
	まちづ	関する	避難	41	多言語又はやさしい日本 語による行政情報の提供	秘書広報課	防災訓練の際に、わかりやすい日本語による情報提供を検討した。	4				
	くり (続	る支援(続き)	情報等			男女共同参画課	飯田国際交流推進協会との協働で、10/23にやさしい日本語研修会を実施し、市民や職員ら57名が参加し、やさしい日本語活用、普及についての研修や実践演習を行った。	4				
	き)		避難所の	40	避難所内の案内表示の多言語化等	危機管理室	避難場所や避難施設等の案内看板の改修等に合わせて、全国統一のピクトグラムを導入するなど、言語に頼らない案内・誘導ができるよう工夫を行った。	3				
			語対応	42		男女共同参画課	避難場所や避難施設等の案内看板の改修等に合わせて、全国統一のピクトグラムを導入するなど、言語に頼らない案内・誘導ができるよう、ピクトグラムに関する情報提供を行った。	3				
安全安心		医療・介護に関する支援	災害時の	43	外国人住民コミュニティー の組織化及びネットワーク の構築	男女共同参画課	既存の国別コミュニティ活動の支援を通じてリーダーの把握と関係づくりに努めた。	3				
で豊かな			構築の支援体制	44	災害時における外国人集 住都市会議との連携協定	男女共同参画課	外国人集住都市会議全会員都市が参加する訓練は実施しなかったが、台風19号豪雨で被害を受けた会員都市の状況を共有した。	4				
交流のまちづ			医療や介護	45	医療通訳者の配置	市立病院	医療通訳者(中国語)を配置し、診察等の際に患者や家族に延べ1779件に通訳を介し対応した。(2019. 1月~12月実績) 休日・時間外には、通訳アプリが使用できるタブレット端末を配置し、主に救命救急センター職員が対応した。	4				
< 9	安全安		を受け	46	医療通訳派遣制度の構築	男女共同参画課	外国人住民及びその関係者、小中学校、医療機関の要請により、28回の医療通訳派 遺を実施した。	4				
(続き)	心な		られる		【新】	市立病院	医療通訳者の派遣の受入れを希望者1人に対し、計4回実施した。	4				
	言語バリ		保ミュー	47	医療通訳ボランティアの育成【新】	男女共同参画課	医療通訳派遣試行の段階で、医療通訳ボランティアの育成について検討したが、様々な課題があることが判明した。	2				
	ッアフ		ニケー	48	介護通訳派遣制度の実施	長寿支援課	介護通訳派遣制度を実施し、利用実績40件(すべて中国語)であった。	4				
	J 	援	ショ		【新】	男女共同参画課	必要な方からの相談に対しては、長寿支援課の制度を紹介した。	4				
	のまちぐ		ンツー	49	多言語対応のできる介護 及び介護相談支援人材の	長寿支援課	中国語対応可能な施設の案内を行った。	3				
	づくり		ルの確	49	49	49	49	49	育成の研究【新】	男女共同参画課	関係課と連携して、制度周知を行うに留まった。	2
	(続 き	- Franker	観光	50	多言語観光パンフレットの 作成【新】	観光課	3言語(英語、中国語2種)の多言語観光パンフレットを、市内各観光施設案内所及びレンタカー営業所に配布した。	4				
)	観 光 ・ 文	や文化ショ交	51	宿泊施設等の無線LAN環 境整備の支援【新】	観光課	国、県等からの支援情報の把握に努めた。	3				
		文化交流に	マ流ができ	52	市内各観光案内所に英語 対応可能な職員の配置 【新】	観光課	配置の継続は行い、案内所認定については検討中である。	3				
		関する	の確保	53	外国人が利用可能な農家 民泊プログラムの提供 【新】	観光課	現有プログラムの案内を多言語化し、各商談会等で活用した。	3				
		支援	ュニケー	54	自動音声翻訳アプリケーションの普及【新】	男女共同参画課	外国語相談窓口に、VoiceBizを設置し、多言語音声翻訳による相談体制を整えた。	4				

施策 <i>0</i>	D基本 は柱	施策の 区 分	取組み の 内容	項 目 No.	具体的実施内容	担当課	令和元年度の実績	令和元年 度の評価											
		生・国際理解	子 生ど ・ も		授業やその他の活動を通 じた多文化共生・国際理	学校教育課	国、県、市その他団体等が推進する国際理解教育事業への協力、学校への情報提供を行った。	4											
			国た 際ち 理に		解教育の推進	男女共同参画課	飯田国際交流推進協会と連携して、飯田風越高校国際教養科の生徒が考える地域の 多文化共生を考える研修会、意見交換会を実施した。	4											
		かる	解教育の		高校生等を対象とした、海外での交流体験学習活動	公民館	3月20日~26日にカンボジア現地研修を予定し、現地の小学生~高校生との交流準備をしてきたが、新型コロナウイルス感染症対応のため訪問を延期した。	交流未実 施のため 評価なし											
		多文化共	推進出		や、海外から訪れる学生 等との交流活動の促進 【新】	男女共同参画課	教育委員会が中心となって進める地域人教育の発表会等を通じ、高校生等を対象とした交流体験のあり方を検討するための情報取集を行った。	3											
安全·	人権・多文化共生、国際理解の推進	市民に対する多文化共生・国際理解のための人材	多文化共生		多文化共生、国際理解を 7 デーマとした社会教育に おける人権学習の推進	生涯学習・スポーツ課	県主催学校・社会人権教育担当者研修会に副運営委員長として参加した。第2回人権 教育研修・連絡協議会における分科会において、「外国にルーツをもつ子どもたちの 人権」について、子どもたちの多様な背景を知るとともに、考え合う機会が設けられた。	4											
ダ全安心で豊かな 交			び人材の紹紹の			公民館	県人権教育連絡協議会主催の研修会に3回出席し、講演会や県内の人権教育担当者との情報交換を行った。 公民館大会第4分科会では「多文化共生」をテーマとし、各地区の公民館館長や主事と協力して、外国人住民を含む様々な人権擁護活動の取組を各分館や地区住民に浸透するよう取組みを始めた。	4											
交流のまち			介・派者		多文化共生、国際理解を 目的とした事業等への人 材の紹介、派遣	男女共同参画課	学輸IIDAフィールドスタディで、飯田国際交流推進協会の協力を得て、飯田市の多様な主体による多文化共生についての講義を実施した。	3											
ちづくり			等種事業	59	59	59					59	59	59	59		市職員を対象とした多文化共生、国際理解をテー	人事課	新規採用職員の正式採用前研修にて多文化共生について研修を行った。(45名・8月末)	4
・(続き			の展開及													59	59	59	59
		外国の文化や言語	外国の文化や言語					公民館	日本語教室「わいわいサロンII」において、和太鼓演奏や救急法、日本の食文化についての講座、「わいわいサロンI」では、お花見やタイの料理実習と試食会を開催した。山本地区の異文化交流会に参加した。 松尾常盤台区の異文化交流会に参加した。 鼎小学校の総合学習で異文化理解を学んでおり、日本語教育コーディネーター、外国人住民と教室へ参加し、多文化共生の学習をした。 飯田国際交流の夕べに展示ブースを出し、参加した。	4									
		語の学習	を学ぶ機			外国の文化や言語を学ぶ 機会の提供や運営支援	生涯学習・スポーツ課	長野県の補助事業である「人権教育促進事業補助金」に係る事務等により、各地区公民館で行われた事業への支援を行った。	4										
		機会の提供	機会の提供等			男女共同参画課	サロン形式で行うようになった、松尾常盤台での多文化交流会実施の支援を飯田市公 民館とも連携して行った。 山本二ツ山国際サロンに参加し、交流の状況を把握した。 飯田国際交流推進協会の事業に事務局として協力し、実施した。(飯田国際交流の夕 、、飯田人形劇フェスタ出店)	4											

※具体的実施内容の【新】とは、それ以前から取り組んでいたもの、新たに取り組むもの含め、平成29年3月の改訂版に新しく掲載したものである。 ※令和元年度の評価は、「達成できた=4」、「概ね達成できた=3」、「あまり達成できなかった=2」、「達成できなかった=1」である。